

実践 ITマネジメント研修3日間

本研修は大企業から中堅中小企業まで30年に亘り事業戦略、IT戦略を指導してきた経験を基に作られた事業企画からIT導入までをトータルで実践的に学べる研修です。従来の教科書的な研修とは一線を画す新しい”真に役立つ“研修です。

<特徴>

- ・数ある経営手法やマネジメント手法の中から、中堅中小の企業にとって真に役立つ手法を選別して学びます
- ・具体的な事例を使った演習によって学んだことを体感する構成になっています
- ・講師が長年、業務改革プロジェクトやIT導入プロジェクトで悩み経験して会得したノウハウが組み入れられています

<目的>

- ・我々は当研修の目的をビジネスよりは後進へのノウハウの伝授ととらえております
- ・講師が経験したプロジェクトでのトラブル、こうすればよかった。こんな無駄なことをしていた、逆にこうした良い方法があった、これらをこれから業務改革やIT再構築に取り組む企業のメンバーに是非伝えたい。こんな思いがこの研修をつくった動機になっています。

とりわけ裁判所の専門委員として15年間数多くのIT関係事件での経験から、ITベンダー、ITユーザともに陥りやすい間違いを繰り返さないよう……。こんな思いがいっぱい詰まった研修内容になっています。

まずは、次ページのチェックリストで自社のITマネジメントの成熟度を評価してみてください

＜ITプロジェクトの管理能力＞

- 1：無きに等しいレベルである
- 2：少しある程度のレベルである
- 3：平均的なレベル
- 4：かなり評価できるレベルである
- 5：申し分がないレベルである

マネジメントスキル項目	説明	評価	コメント
1. 企画・提案時	システム化の目的や条件など漏れなく書かれたRFPを作成することが出来る (ユーザ企業) RFPを基に顧客ニーズに合った魅力的な提案書が書ける (ベンダー企業)	1 2 3 4 5	
2. プレゼン時	提案内容をRFPと比較し、プレゼンも含め適切に評価し最適なITベンダーを選ぶことが出来る (ユーザ企業) 決められた時間内で提案書の内容を要領よく説明し、顧客に理解してもらうことが出来る (ベンダー企業)	1 2 3 4 5	
3. 契約時	システム開発に伴う基本的な法知識を有し的確でリスクの内在しない契約書を作ることが出来る (ユーザ企業、ベンダー企業とも)	1 2 3 4 5	
4. 実施計画作成時	提案書の内容を具体的なシステム作業にブレークダウンし実現可能な計画書を作ることが出来る (ユーザ企業、ベンダー企業とも)	1 2 3 4 5	
5. 要件定義時	システム化の要求事項を適語表現でベンダーに伝えることが出来る (ユーザ企業) 顧客ニーズ(要求事項を基に適語表現で過不足のない要件定義書を作ることが出来る (ベンダー企業)	1 2 3 4 5	
6. 変更管理	プロジェクト途中で発生した新たな要求や変更項目を決められたルールに則って適切に処理できる (ユーザ企業) プロジェクト途中で発生した新たな要求や変更項目を予算内の費用で適切に処理することが出来る (ベンダー企業)	1 2 3 4 5	
7. 取引先との関係	元請け会社、および外注会社との権利義務を明確にし良好な関係を築くことが出来る (ベンダー企業)	1 2 3 4 5	
ITプロジェクト管理力 全体		1 2 3 4 5	

多くの企画プロジェクトを見てきた講師からの質問



I、事業戦略の立案

- ・実践的SWOT分析 → SWOT分析のそれ、本当にそれ強みですか？
- ・実践的BSC → その戦略マップ、本当に戦略になっていますか？
- ・バランススコアカードと目標管理 → そのアクションプラン、具体的な作業がイメージできますか？
そのKPIは正しく測定できますか？

II、新業務プロセスの策定

- ・プロセス図の描き方 → その業務をつなぐ矢線は順序、情報の流れ、物の流れ、どれですか？
- ・適語表現による要求定義 → その表現で要件が伝わりますか？

III、業務のシステム化(IT化)

- ・IT化の目的／効果／コスト／日程 → IT導入が目的化していませんか？
- ・MUST要件で絞りWANT要件で評価する → そのPKG、御社業務との適合性は大丈夫？
- ・プロジェクト管理責任と協力責任 → 現場 SE 任せでプロジェクト管理不在では？

当研修によりこれらの懸念を払拭する「ヒント」が得られます